



SWIS-H
STATEWIDE INFANT
SCREENING - HEARING



私は、赤ちゃんの聴覚スクリーニングを受けないことにしました。知っておく必要があるのはどんな事ですか？

あなたの赤ちゃんは生後数週間に一連の健康診断を受けることができます。これらのうちの一つが難聴の診断です。

聴覚スクリーニングは、生後できるだけ早い時期に提供され、退院前または退院後に病院で、あるいは地元コミュニティの指定場所で受けることができます。

保護者は新生児聴覚スクリーニングへの同意を拒否することができます。そのことはお子さんの個人の健康記録（ブルーブック）に記録され、スクリーニング検査を提案された時にあなたが拒否したことを確認する用紙に署名するように依頼されます。

赤ちゃんの聴覚スクリーニングを受けないと決めた場合でも、聴覚スクリーニングについて、またその重要性について通知されます。

なぜ聴覚スクリーニングが行なわれるのですか？

出生する赤ちゃんの1000人のうち約1人か2人に重度の難聴が見られます。

できるだけ早くあなたの赤ちゃんの聴力を調べ、適切な助言と支援を得られるようにすることが重要です。

子供が最初の言葉を発するようになるまでに、子供たちは私たちの話し方を1年近く聞いているのです。

子供が最初の言葉を発するようになるまでに、子供たちは私たちの話し方を1年近く聞いているのです。

さらに詳しい情報をご希望の場合、または考えが変わって赤ちゃんの聴覚スクリーニングを希望される場合には、最寄りのSWIS-Hプログラムのコーディネーターに早急に連絡してください。

赤ちゃんの成長に伴って、何を必要とするのでしょうか？

聴力は、必ずしも経時的に変化しないとは限りません。赤ちゃんの話し言葉と言語能力の発達と同様に、音に対する反応を観察することが重要です。

お子さんの発育の度合いを調べるために次ページのチェックリストをご参照ください。

将来、お子さんの聴覚や話し言葉と言語能力の発達について心配がおりの場合には、お子さんの聴覚検査を手配してください。適切な聴力検査を受けるためにファミリードクターに紹介状を依頼してください。

聴力は、年齢を問わず検査できます。

さらに詳しい情報については、
下記のウェブサイトをご覧ください。

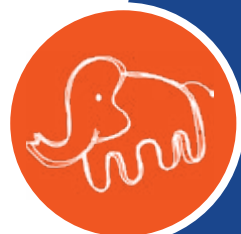
<http://www.health.nsw.gov.au/kids-families>

最寄りの連絡先／予約の詳細

健康に関するアドバイスについては、*healthdirect Australia* にお問い合わせください。

<http://www.healthdirect.gov.au/>

1800 022 222





聴力チェックリスト

出生から生後3ヶ月まで	大きな音に反応を示す
	聞きなれた声や音を聞くと静かになる
	クーイングの音を出す
	話している人の顔を見て、言葉に反応する
3-6ヶ月	音の聞こえる方に目や頭を向ける
	話し声のような音を出し始める
	感情を示すために笑ったり声を出したりする
6-9ヶ月	「ダーダ」、「マーマー」、「バーバー」と喃語を話す
	注目を集めるために大声を出す/声を出す
	「ノー」および自分の名前にしばしば反応する
	歌や音楽に反応する
9-12ヶ月	他の人の話し声の真似をする
	例「ボール」、「ドッグ」、「ダディー」などの簡単な言葉を理解する
	弱い音にも頭を向ける
	最初の言葉を話す
12-18ヶ月	毎週、新しい言葉をいくつか理解しているように見える
	簡単な話し言葉による指示に従う。例「ボールをとってきて」
	質問されると人や体の部位や玩具を指す
	新しい言葉を継続的に学び、不明瞭であっても言う
18-24ヶ月	日常使う言葉は100-200語になる
	簡単な話や歌を聞こうとする
	2語以上の言葉をつないで短い熟語にする。例「もっとジュース」

注：

